

## DX対応で生き残り

### 再開発ビル活性化NW

NPO法人再開発ビル活性化ネットワーク(藤山正道理事長)は、2020年度定時総会をオンラインで開いた。19年度の活動報告や



決算、20年度の活動計画、予算について審議し、承認した。

藤山理事長は「アフターコロナを見据えた準備が必要だ。終息後はV字ではなくK字の回復が起こるといわれている。DX(デジタル・トランスフォーメーション)に対応できた企業は回復し、そうでないところは生き残ることができない。当ネットワークではDXへの対応などにテーマを絞り、オンラインで小規模意見交換会を開いて情報共有していきたいと思っている。見通しが立てにくい時代ではあるが、引き続きわれわれの活動をご支援いただきたい」とあいさつした。写真。

20年度事業計画では、再開発ビルの活性化に関する組織や情報のネットワークの拡大、発展、再開発ビル施設運営の支援、会員サービスの充実と会員拡大を基本方針とし、全国の再開発ビルや商業施設との連携・ネットワークの強化、情報発信力の強化、小規模意見交換会の実施と具体的支援などに取り組む。

(11・30)

